

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	生活環境部
-------	-------

【平成27年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<b>重点目標 資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成</b> 資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元自治会との合意形成 (1)第2回以降の意見交換会の開催、住民説明会の開催 (2)地元自治会等への地域振興策案の提案  し尿前処理下水道放流施設建設に向けた地元自治会との合意形成 (1)地元自治会を対象とした説明会の開催 (2)施設を理解していただくための先進地視察等の実施	(1)地元自治会との合意形成に向けた取組の推進 (2)地元自治会等に対し地域振興策を提案し地元の意向・要望を把握する。 (1)(2)施設整備に向けた地元自治会との合意形成に向けた取組の推進	(1)広域連合と共に、資源循環型施設建設対策連絡会に対し意見交換会再開の申し入れを行う（5月26日）。意見交換会再開のための対策連絡会代表者との懇談会開催（9月14日） (2)地元に提示するための地域振興策を検討中 (1)(2)地元自治会役員を対象とした下水終末処理場現地見学会を実施（7月5日）すると共に、第2回目の説明会開催を依頼
2	<b>重点目標 資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進</b> 具体的な重点取組項目（箇条書き） ごみ処理広域化計画に定められた減量化目標を達成するためのごみ減量化推進施策の実施 生ごみの減量化 (1)「やさいまる」事業と乾燥生ごみの堆肥化実証実験の実施 (2)ごみ減量化機器等の普及促進 (3)大型処理機による生ごみ堆肥化モデル事業の実施に向けての検討 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 ごみ減量アドバイザー、エコハウス、「ごみ減量・再資源化キャッチフレーズ」の活用による情報提供・啓発	減量化目標33,712t達成のためのごみ減量PR等の実施  (1)通年、ポイント交換数：延べ1,000回 (2)通年、補助機器数：380台、基材数：1,400個 (3)モデル事業の検討 モデル地区4箇所（処理機4台） 対前年度比 910 t（ 2.63%）	進捗状況・進捗度  (1)「やさいまる」事業 乾燥生ごみ回収量：237.3kg、登録者数：29人、持込者数：延べ48人、ポイント交換数：6回 (2)ごみ減量化機器購入費補助機器数：489台、ごみ減量化基材「ぱっくん」配布数：836個 (3)モデル事業に着手 実施要領を制定、モデル地区を募集（8月10日～） 可燃ごみ処理量 前年度比 392 t（ 2.2%）（9月末現在） キャッチフレーズを決定し啓発用ポスターを500枚作成、公共施設や自治会掲示板等に掲示し、減量化の啓発を行った。
3	<b>重点目標 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進</b> 具体的な重点取組項目（箇条書き） 特殊詐欺や悪質商法などの被害防止対策と消費生活センターの機能強化 消費生活センター機能強化、出前講座、研修会・講演会、チラシ等による啓発 防犯意識の高揚と被害防止の推進  自治会及び関係機関等と協働した防犯パトロールの実施  子供と高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進  シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上	相談件数 年200件（H26年度123件） 出前講座 年12回、講演会参加者100人以上 地域安全運動 年4回実施  駅前パト27回延べ540人、青パト210回、千本桜まつり及び夏祭りパト延べ630人 交通安全教室100回以上実施 夜光反射材の配布3,000人以上 シートベルト99%、チャイルドシート90%以上	相談件数 214件（9月末現在）、出前講座 10回（9月末現在）、防犯協会一本化に向け上田市・上小・依田窪合同の防犯研修会を初めて実施（7/1,サトミューゼ,350人） 広報うえだ(2回)、うえだテレビ(回覧2回)による定期的な啓発に加え、メール配信システムを利用した注意喚起(19回)を実施。 春・夏の地域安全運動を実施するとともに、地区防犯協会等の防犯講習(6回)を実施。 駅前パト22回延べ514人（9月末現在）、青色回転灯防犯パト179回（9月末現在）、千本桜まつり夜間パト及び夏祭り駅前パト延べ473人 交通安全教室を67回実施(9月末現在)、夜光反射材の配布2,000人(9月末現在) シートベルトの着用率99.1% チャイルドシートの着用率79.3%(9月調査)
4	<b>重点目標 地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全</b> 具体的な重点取組項目（箇条書き） 再生可能エネルギー利活用の推進 (1)住宅用太陽光発電、太陽熱高度利用システムの普及 (2)太陽光発電市所有施設屋根等貸付事業の推進 省エネルギーの推進 (1)防犯灯のLED化 (2)第三次IoTイシューに基づいた温暖化防止対策の推進 (3)緑のカフェ普及 (4)市民主体の普及啓発事業支援 環境保全のための施策の推進と環境放射線測定の実施 (1)全市一斉マルチ駆除 (2)レジ袋削減・マイバック持参運動 (3)不法投棄パト (4)河川一斉パト (5)環境放射線測定	(1)太陽光348件、太陽熱18件補助 (2)三中及び四中屋内運動場、本原小管理棟についてH28年度の屋根貸しを検討 (1)既設防犯灯のLED化率100% 交換3,116灯 (2)夏・冬の節電対策実施 (3)緑のカフェ150件以上 (4)会議等参加 (1)マルチ駆除 6月 (2)マイバック持参率62%以上 (3)不法投棄パト1,250回以上 (4)河川一斉パト2回 (5)環境放射線測定 91回	(1)太陽光188件、太陽熱7件（9月末） (2)三中(屋内運動場、北校舎)、四中(屋内運動場)、本原小(管理棟)について貸し付け可能面積を算定した。 (1)既設防犯灯のLED化率94% 交換2,236灯、新設122基（9月末） (2)7月から9月まで、エコオフィスの徹底、クールビズ、緑のカーテンを取組内容とした夏の節電対策を実施 (3)緑のカフェ93件 (4)うえだ環境市民会議へ参加(総会5月16日、清掃活動2回、企画会議3回、環境イベント2回) (1)自治会連合会との協働によるマルチ駆除を実施、（6月28日、駆除量3771kg） (2)マイバック持参率71.1%（9月末調査） (3)不法投棄パト473回（9月末集計） (4)河川一斉パト1回（5月21日） (5)環境放射線測定 32回（9月末）
5	<b>重点目標 市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上</b> 具体的な重点取組項目（箇条書き） 市営住宅の住環境整備の推進及び2階建以下低層住宅の整備方針の検討 (1)給湯器・浴槽設置事業の実施 (2)耐震化に向けた課題整理  住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 95%以上 (2)滞納繰越分収納率 前年度実績12.09%以上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	(1)中丸子団地(60戸)【再掲:丸子地域自治C】 (2)課題の整理と手法の検討  (1)95%以上 (2)前年度実績12.09%以上 催告書、連帯保証人への依頼書等の送付、法的措置を視野に入れた取組	(1)交付金削減の影響により実施期間を3年間から4年間とし、今年度はA棟24戸整備する予定。10月下旬入札、契約の予定。 (2)6月に耐震診断の手法及び概算費用について庁内で協議したが、公共施設マネジメント基本方針に大きく影響を受けることから、方針について今後の動向を注視している状況にある。 9月末現在の収納率 (1)現年度分 94.8% (2)滞納繰越分 8.42% 明渡請求予告等の催告を行い、誠意が見られない名義人2名とその連帯保証人に対して、10月に明渡請求訴訟に係る訴えの提起を実施予定。

評価基準 [ : 目標を上回る進捗 ] [ : 目標どおり進捗 ] [ : 未進捗の部分あり ] [ x : 全て目標未進捗 ]

市長指示事項	・資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成、ごみ減量化については引き続き誠意取り組み、職員個人もごみ減量化の意識を心がける取り組みをすること。 ・「やさいまる」事業、大型生ごみ処理機の普及は一日も早く稼働できるよう努力すること。 ・防犯協会、交通安全協会の一歩化に向けたサポートをすること。 ・住宅使用料の収納率向上は、課題はあるが引き続き取り組むこと。 ・市営住宅の整備方針は課題と手法をよく検討すること。
--------	--